

自治会に関する市民アンケート 調査報告書



令和3年6月

1 調査の概要

目的 地域や年代ごとの自治会への加入状況や未（非）加入であること理由、自治会への要望等を把握し、自治会加入促進のための具体的取組を検討する基礎資料とする。

調査対象 市民

調査期間 令和3年4月20日から5月15日まで

回答数 3,150人（施設での回答1,345人、市ホームページでの回答1,805人）

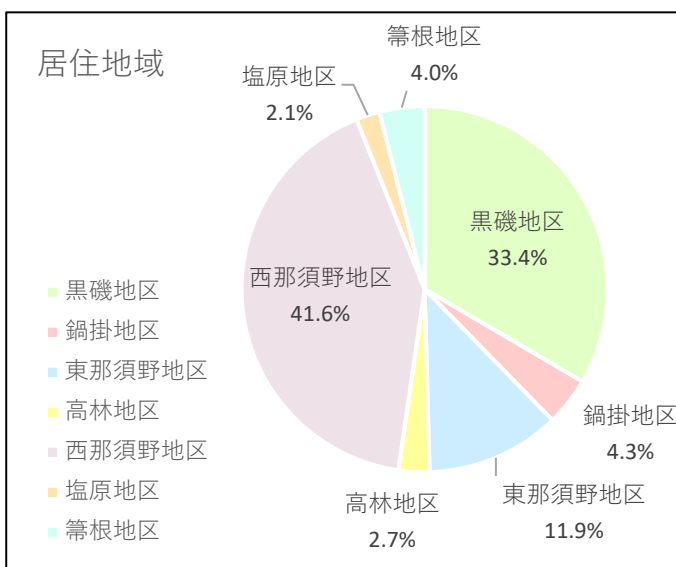
周知方法 市ホームページ、みるメール、LINE

2 調査結果

(1) 居住地域

回答者の居住地域で最も多いのが西那須野地区で1,298人（41.6%）、次いで黒磯地区1,042人（33.4%）、東那須野地区370人（11.9%）だった。

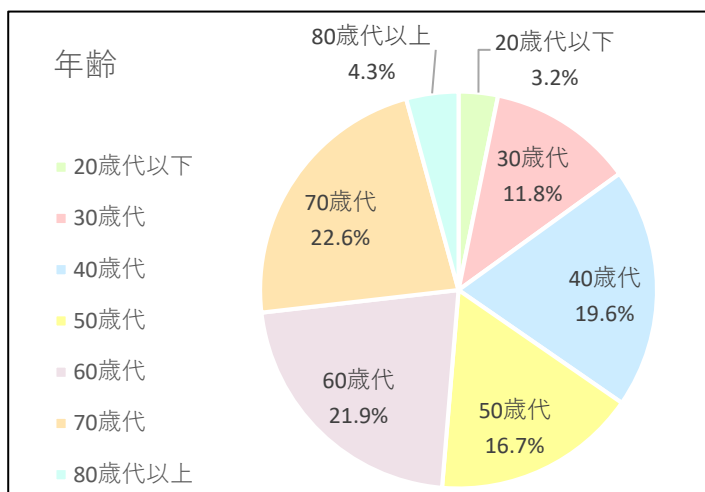
地区	人数	割合
黒磯地区	1,042	33.4%
鍋掛地区	133	4.3%
東那須野地区	370	11.9%
高林地区	85	2.7%
西那須野地区	1,298	41.6%
塩原地区	65	2.1%
箒根地区	124	4.0%
有効回答数	3,117	100.0%
わからない・無回答	33	



(2)年齢

40歳代から70歳代までは、大きな差はなかった。20歳代以下の回答は施設・市ホームページとともに回答数が少なかった。

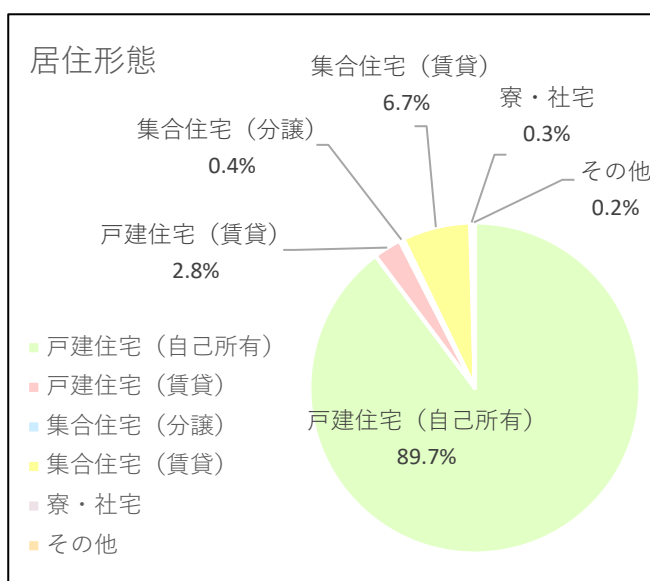
年齢	人数	割合
20歳代以下	100	3.2%
30歳代	370	11.8%
40歳代	612	19.6%
50歳代	522	16.7%
60歳代	683	21.9%
70歳代	705	22.6%
80歳代以上	133	4.3%
有効回答数	3,125	100.0%
無回答	25	



(3)居住形態

回答者の9割弱が戸建住宅(本人または家族の所有)で2,805人(89.7%)。

居住形態	人数	割合
戸建住宅(自己所有)	2,805	89.7%
戸建住宅(賃貸)	86	2.8%
集合住宅(分譲)	12	0.4%
集合住宅(賃貸)	209	6.7%
寮・社宅	8	0.3%
その他	6	0.2%
有効回答数	3,126	100.0%
無回答	24	

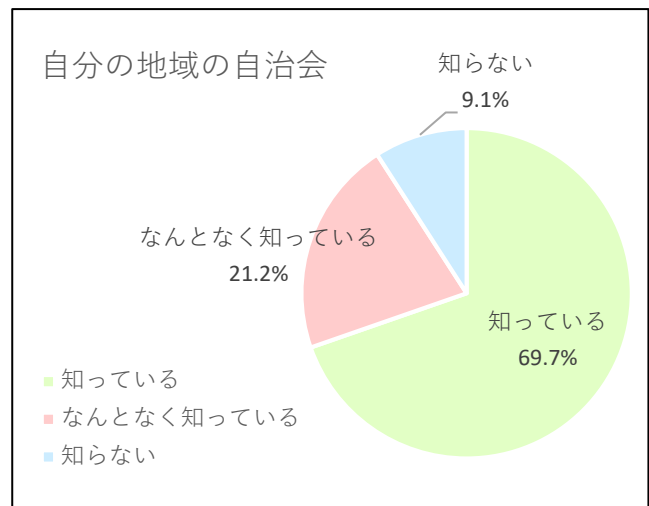


(4)自分の地域の自治会（活動）を知っているか

回答者の7割近く（2,171人、68.9%）が自治会活動を知っていると回答した。

知らないと回答したのは284人で、1割を下回った。

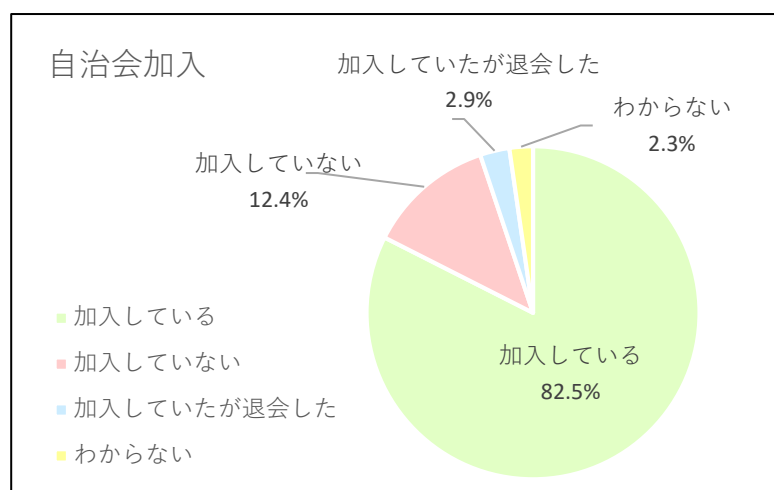
回答	人数	割合
知っている	2,171	68.9%
なんとなく知っている	661	21.0%
知らない	284	9.0%
有効回答数	3,116	100.0%
無回答	33	



(5)自治会に加入しているか

回答者の8割以上の2,568人（82.5%）が加入していると回答した一方、475人（15.3%）は加入していない、または加入していたが退会したと回答した。

回答	人数	割合
加入している	2,568	82.5%
加入していない	386	12.4%
加入していたが退会した	89	2.9%
わからない	71	2.3%
有効回答数	3,114	100.0%
無回答	36	

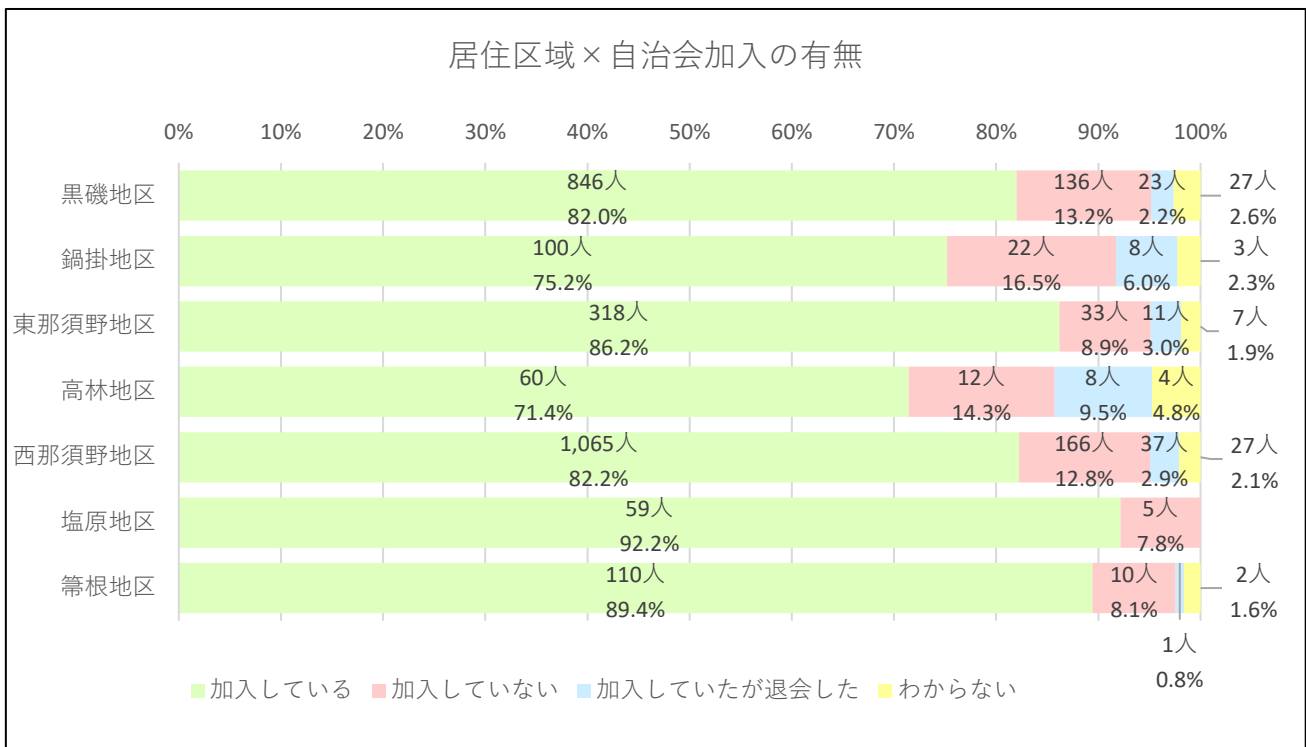


※クロス集計（無回答等を除く有効回答数のみで集計）

居住区域別の自治会加入状況

他の地区と比較して、鍋掛地区、高林地区で「加入していない」または「加入していたが退会した」という未加入の回答が多く見られる。

地区	加入している	加入していない	加入していたが退会した	わからない
黒磯地区	82.0%	13.2%	2.2%	2.6%
鍋掛地区	75.2%	16.5%	6.0%	2.3%
東那須野地区	86.2%	8.9%	3.0%	1.9%
高林地区	71.4%	14.3%	9.5%	4.8%
西那須野地区	82.2%	12.8%	2.9%	2.1%
塩原地区	92.2%	7.8%	0.0%	0.0%
箒根地区	89.4%	8.1%	0.8%	1.6%

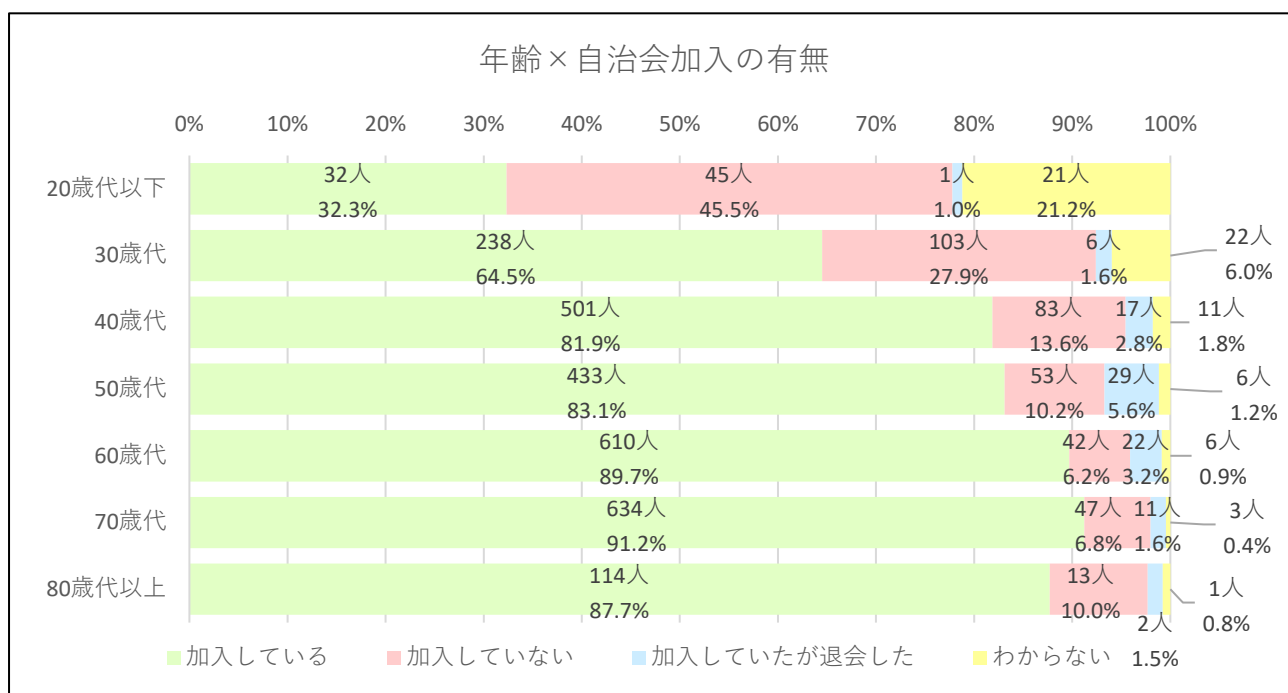


年齢別の自治会加入状況

回答者のうち 40 歳以上の年代は、80%以上が自治会に加入している。

20 歳代以下の年代は、21.2%がわからないと回答している。

年齢	加入している	加入していない	加入していたが退会した	わからない
20 歳代以下	32.3%	45.5%	1.0%	21.2%
30 歳代	64.5%	27.9%	1.6%	6.0%
40 歳代	81.9%	13.6%	2.8%	1.8%
50 歳代	83.1%	10.2%	5.6%	1.2%
60 歳代	89.7%	6.2%	3.2%	0.9%
70 歳代	91.2%	6.8%	1.6%	0.4%
80 歳代以上	87.7%	10.0%	1.5%	0.8%

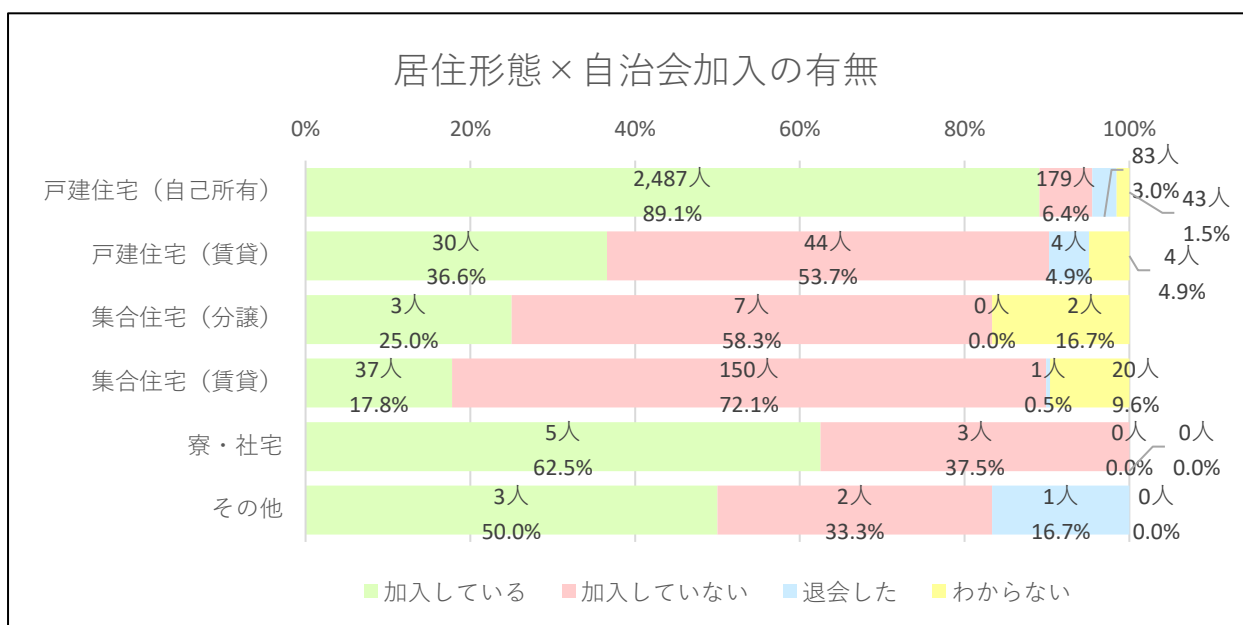


居住形態別の自治会加入状況

「戸建住宅（自己所有）」で、自治会に「加入している」人が89.1%を占めている。

一方で、「戸建住宅（賃貸）」、「集合住宅（分譲）」、「集合住宅（賃貸）」はいずれも自治会に「加入していない」人が半数以上を占めている。

居住形態	加入している	加入していない	加入していたが退会した	わからない
戸建住宅（自己所有）	89.1%	6.4%	3.0%	1.5%
戸建住宅（賃貸）	36.6%	53.7%	4.9%	4.9%
集合住宅（分譲）	25.0%	58.3%	0.0%	16.7%
集合住宅（賃貸）	17.8%	72.1%	0.5%	9.6%
寮・社宅	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%
その他	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%

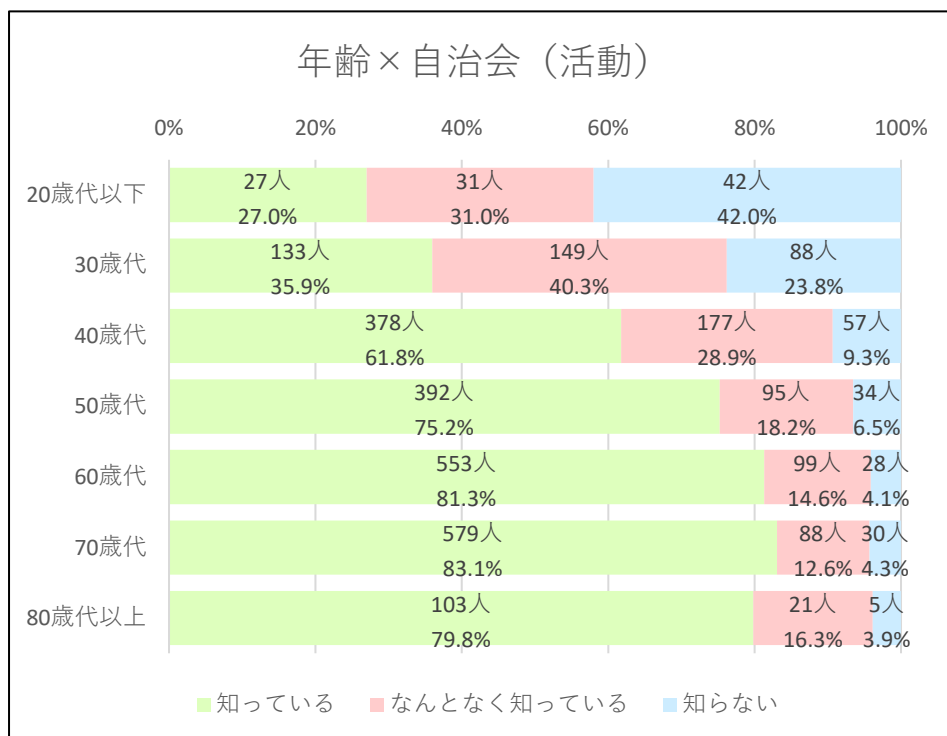


年齢別の自治会（活動）認知状況

自分の地域の自治会（活動）について全ての年代で「知っている」または「なんとなく知っている」人が半数以上を占めた。

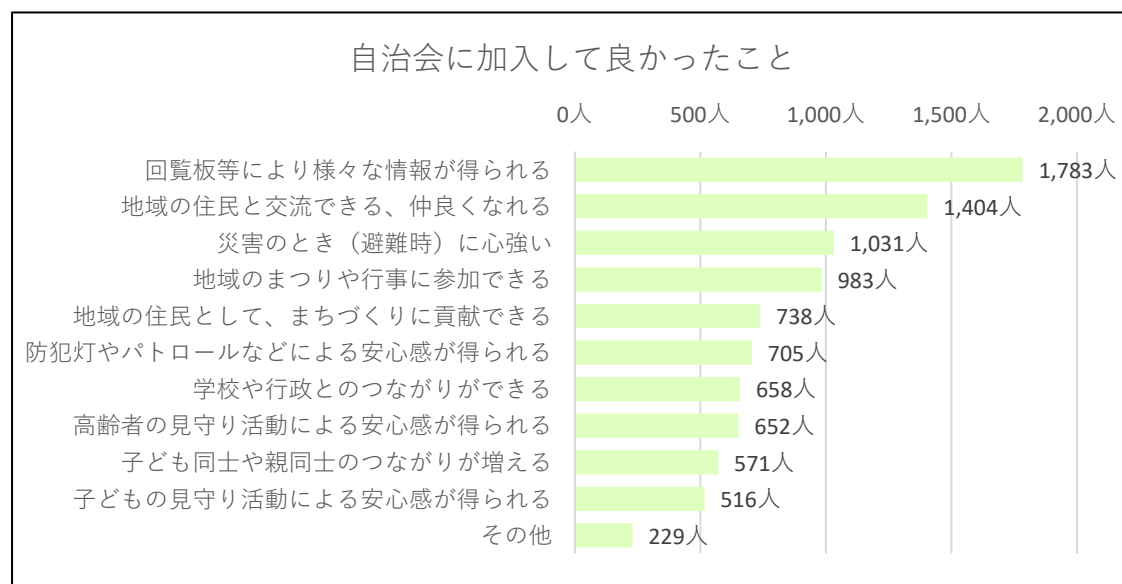
「知っている」のみで見ると、40歳代以上の世代において半数を占めている。30歳代、20歳代以下と若い世代になるにつれ、「知らない」割合が大きくなっている。

年齢	知っている	なんとなく知っている	知らない
20歳代以下	27.0%	31.0%	42.0%
30歳代	35.9%	40.3%	23.8%
40歳代	61.8%	28.9%	9.3%
50歳代	75.2%	18.2%	6.5%
60歳代	81.3%	14.6%	4.1%
70歳代	83.1%	12.6%	4.3%
80歳代以上	79.8%	16.3%	3.9%



(6)【5で自治会に「加入している」と回答した人のみ】自治会に加入して良かったこと（複数回答）
「回覧板等により様々な情報が得られる」が最も多く、自治会に加入している人の69.4%に及んだ。次いで「地域の住民と交流できる、仲良くなれる」が54.7%、「災害のとき（避難時）に心強い」が40.1%、「地域のまつりや行事に参加できる」が38.3%と続き、回覧板や地域の交流、防災について自治会加入のメリットを感じている人が多い。

自治会に加入して良かったこと	人数	割合 (加入している人のうち)
地域の住民と交流できる、仲良くなれる	1404	54.7%
地域のまつりや行事に参加できる	983	38.3%
地域の住民として、まちづくりに貢献できる	738	28.7%
学校や行政とのつながりができる	658	25.6%
回覧板等により様々な情報が得られる	1783	69.4%
子ども同士や親同士のつながりが増える	571	22.2%
子どもの見守り活動による安心感が得られる	516	20.1%
高齢者の見守り活動による安心感が得られる	652	25.4%
防犯灯やパトロールなどによる安心感が得られる	705	27.5%
災害のとき（避難時）に心強い	1031	40.1%
その他	229	8.9%



その他（自治会に加入して良かったことを抜粋、選択肢と同様の意見は省略）

- ・地域のことがわかる。地域の問題点を共有し、解決の糸口に繋げている。
- ・住民の声や要望を市政に反映させる。
- ・清掃や回覧板等の活動を通じて、最低限の隣近所付き合いができる。最新の情報が得られる。
- ・入院時、見舞金がもらえた。

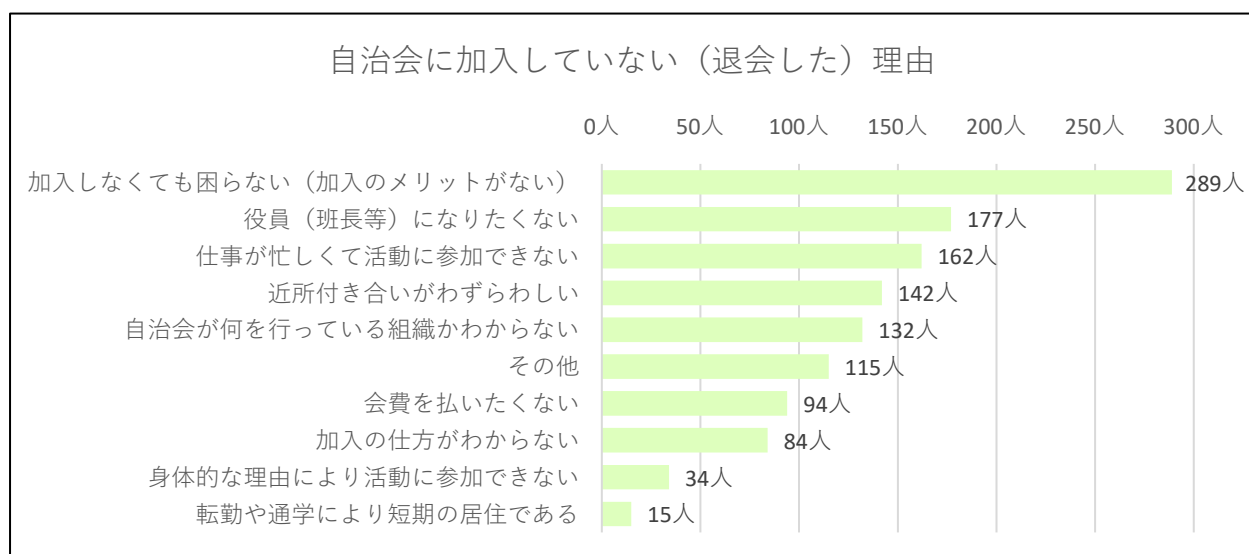
- ・子どもに絵手紙を送ってきてくれて嬉しかった。
- ・子育てを地域の方にささえられてしてきたので、とても感謝している。
- ・ゴミステーションが利用できる。街灯の設置
- ・高齢者の「健康づくり」行事を多く開催している。
- ・連絡をとりあえる。

(7) 【5で自治会に「加入していない」または「加入していたが退会した」と回答した人のみ】

自治会に加入していない（退会した）理由（複数回答）

「加入しなくても困らない（加入のメリットがない）」が最も多く、自治会に加入していない人の60.8%（289人）に及んだ。次いで「役員（班長等）になりたくない」37.3%（177人）、「仕事が忙しくて活動に参加できない」34.1%（162人）と続いた。

自治会に加入していない（退会した）理由	人数	割合 (加入していない人のうち)
自治会が何を行っている組織かわからない	132	27.8%
加入の仕方がわからない	84	17.7%
加入しなくても困らない（加入のメリットがない）	289	60.8%
近所付き合いがわずらわしい	142	29.9%
仕事が忙しくて活動に参加できない	162	34.1%
身体的な理由により活動に参加できない	34	7.2%
役員（班長等）になりたくない	177	37.3%
会費を払いたくない	94	19.8%
転勤や通学により短期の居住である	15	3.2%
その他	115	24.2%



その他（自治会に加入していない理由を抜粋、選択肢と同様の意見は省略）

- ・自治会費を払う余裕がない。
- ・会費の使い道が不明。会費の使い道に納得がいかない。
- ・参加できないとお金を支払うらしい。そのお金の使途が不明。
- ・現金集金が困る。
- ・会費等運営の仕方に問題あり。市からのお金を、ほぼ自治会長が貰っているのはいかがなものか。
- ・役員による自治会の私物化。
- ・先住者の声大きい。
- ・住み始めた時に加入を希望したが、当時の自治会長から正会員としては却下された。
- ・隣近所とトラブルがあり、顔を合わせたくない。
- ・自治会があるかわからない。
- ・賃貸アパート住まいで、自治会勧誘がなかった。
- ・アパート住まいで対象外のため。
- ・居住している地域の自治会から加入に伴うアプローチが一切ない。
- ・ゴミを自分で捨てているので、自治会から誘われなかった。
- ・引っ越し先の住宅地が自治会に入っていないため。
- ・自治会が無くなった。
- ・別荘分譲地のため、最初から自治会が作られていない。
- ・分譲地で不動産業者管理の組織に加入しているため、地元自治会に加入するのは経済的に困難。
- ・住んでいる分譲地の住民で組織する組合に加入しているため。
- ・同じ分譲地内で加入している人がいないので、加入したら近所の人に迷惑がかかる気がする。
- ・近所に自治会がない。近所の人も入っていない。
- ・引っ越した際に、入りたくても入れないと住宅メーカーを通して言われた。
- ・マンションの管理組合で地元の自治会に入会を申し入れたが、断られた。
- ・自治会のやり方などに不満があり、班で話し合い、班ごと退会した。
- ・理不尽な理由で班を退会させられた。
- ・敷地内に住んでいる家族が加入しているから。
- ・家族が加入しなくてよいというため。
- ・育成会があるので交流に困っていない。
- ・自治会の在り方、班の在り方に疑問があり、嫌気がさしたから。
- ・行政の下請けだから。
- ・自治会の意義を見出せない。
- ・自治会の仕組みが昔のままで現在に合っていない。
- ・付き合いがないのに、顔も知らない人に関わるのが面倒くさい。集まりが面倒。
- ・回覧板が迷惑。広報、回覧の情報に必要性がない。
- ・街灯を防犯上の場を考えた箇所に設置してくれなかった。
- ・冠婚葬祭が面倒くさい。昔からのしきたりが残っている。活動に強制参加させられるから。
- ・スポーツや飲み会ばかりで、災害時の避難の話などが一切されなかった。

(8)自治会について、「このような自治会なら加入したい」など、意見や要望（自由記載）

自治会費について

※色分けの説明

否定的な意見（苦情） 好意的な意見 改善要望・提案・その他など

【自治会費の必要性について】

- ・ごみ回収や防犯灯の設置など、自治会費の負担は必要だと思う。
- ・班長をやってみて、自治会費は非常に重要な経費のために集めているということがわかった。
- ・自治会費は、居住生活の基盤を支える「地域税」のようなものと考えている。

【自治会費の金額や集金方法について】

- ・自治会費が高い。金額に見合わない。自治会費を払いたくない。
- ・金額の設定経緯や根拠がわからない。
- ・コロナ禍で活動がストップしているのに自治会費は徴収される。
- ・同一敷地内に息子夫婦が家を建てたら2世帯分の会費がかかる。同じ建物なら2世帯でも1世帯分なのに不公平ではないか。
- ・各戸訪問の集金ではなく、口座振込にしてほしい。
- ・自治会費の金額が地区によってバラバラのため、ある程度統一できないか。

【自治会費の使いみちについて】

- ・自治会費の使い方が不透明。使途を明らかにしてほしい。
- ・家賃から自治会費が引かれているが、何のための費用かわからない。
- ・役員等、一部の人達の飲食代に充てているのが納得できない。ありえない。
- ・役員手当が高すぎる。役員手当の金額を市で統一してほしい。
- ・敬老イベントや親睦会等、一部の人への手厚い事業のために会費を払うのは納得がいけない。
- ・昔ながらの使い方では若い世帯には納得がいけない。自分には何も還元されない。無駄。
- ・自治会費の使い方を見直してほしい。公正公平に。
- ・自治会費は、災害時対応分（必要物品、復旧作業費）など、必要最低限のみとしてほしい。

【自治会費以外の募金等について】

- ・任意の募金や神社関係の費用も徴収される。任意と言われても断れない。半強制である。
- ・信仰していない宗教行事の費用を、自治会費から支払われるのは納得がいけない。
- ・自治会名義で出す寄付金を、ほぼ強制的に徴収されるのはおかしいと思う。
- ・自治公民館の建て替え費用も集金される。

【その他】

- ・自治会費を払っているのに、清掃等に出られないと出不足金（罰金）を取られる。
- ・活動に参加しないのに自治会費を払わなければならないのはどうかと思う。
- ・公民館費と消防費（必要最小限の額）のみ納めている。

役員について

【自分が役員をやることに関して】

- ・役員になりたくない。役員を強制されるなら自治会を抜ける。
- ・役員制度がなければ加入してもいい。役員の回り番はやめてほしい。
- ・現在役員をやっているが、役員は皆、大変な時間と労力を使って活動している。
- ・班長になると大変なので退会したい。集まりも面倒なのでなくなってほしい。わずらわしい。
- ・班長だけならまだいいが、班長になると、他の役員もやらなければならない。やりたくない。
- ・現役で仕事をしていると役員は難しい。負担が重すぎる。
- ・自治会長の負担が重い。市への提出書類が多すぎる。サラリーマンでもできる程度の業務量に。
- ・班長になるといろいろな役割があるが、近所の方と知り合いになれて心強い。

【その他】

- ・役員になりたくなくて、順番の直前に退会し、入り直す人がいる。
- ・高齢者に役員は無理。高齢者は役員を免除するなどの検討が必要。
- ・役員決めに揉める。押し付け合いになる。くじ引きや圧力。人間関係も悪くなる。
- ・初めての役員に対する前役員からの圧力やいじめがある。
- ・役員を断ると、周りから批判やパワハラがある。
- ・役員の負担を軽減しなければ、自治会加入減は加速する。
- ・やりたい人だけがやればいい。よくわかっている人がやった方がいい。
- ・社会福祉協議会から事務局支援を受けられるといい。
- ・役員の業務を、前年踏襲ではなく都度見直して効率化していければ。
- ・役員をやってくれる人にはしっかりと報酬を支払い、長く役員をやってもらえるようにしたい。

自治会のメリット・デメリットについて

【全体として】

- ・誰のための、何のための自治会なのかわからない。
- ・メリットがない。会費を払ってまで入る必要はない。自治会費を払った分のメリットが欲しい。
- ・自治会に加入して良かったと思うことは一度もない。いろいろと強制されて嫌なだけの会。
- ・自治会に加入しているか・していないかで何も変わらない。入らないデメリットがあるのか。
- ・自治会に入ると負担が増えるなどのデメリットが大きい。入っていない方がメリットがある。
- ・街灯費や消防費、ごみステーション費など、加入者のみで負担しているのは不公平。
- ・必要経費は自治会加入の有無にかかわらず全員から徴収した方がよい。支払わない人は消防等のお世話にならないという同意を得るべき。
- ・目に見える形のメリットがあると良い。明確なメリットがあれば加入しやすい。メリット、デメリットを考えて加入するものではないと思うが、このままでは加入者は減る一方。
- ・加入のメリットがPRされていないのでは。各自治会が加入のメリットを見せた方がいい。

【ごみステーション・消防団・街灯等について】

- ・ 加入しないとごみステーションを使わせてもらえない。ごみ捨てのためだけに加入した。
- ・ 自治会に加入しないとごみを出せないが、他の地区では未加入でもごみを出せる。不公平。
- ・ 自治会を抜けようとしたら、ごみステーションの利用などで脅された。
- ・ 分譲地にはごみステーションが設置されているため、自治会に加入しなくてもごみを捨てられる。
- ・ 自治会活動と、ごみステーション利用に関する維持管理を切り離してほしい。
- ・ 自治会に加入しなければごみを出せないという考え方はおかしい。
- ・ 自治会に入らずにごみステーションを利用し、管理義務も果たさない人が多い。
- ・ ごみ袋に名前を書かされる。プライバシー保護上問題だ。やりすぎである。
- ・ 加入者はごみ袋をもらえるといい。
- ・ 加入しないと家が火事になっても消防団は来ないと言われた。消防団は来てくれるのではないか。
- ・ 加入しなくても街灯は使っている。
- ・ 子どもが小学生になり、登下校の班に入るために自治会に加入した。

回覧板について

- ・ 自治会活動は回覧板だけでいい。
- ・ 自治会への加入はしたくないが、市の広報は欲しい。市のことがわからない。
- ・ 日付が過ぎてから回ってくる。
- ・ 回覧板は廃止し、お知らせはメールや web 利用してほしい。その方が時差が少ない。
- ・ 広報を紙ベースでほしい人へは有料配布しては。
- ・ いちいち隣の家を持って行くのは面倒。特に親しくもない近所の人に回覧板を渡すのも気が重い。
- ・ コンビニで配布するなど、自治会の手を借りずに伝える方法があればいい。
- ・ 紙での情報は回覧板を回すのではなく、全て配布にしてほしい。ポスティングへ移行しては。
- ・ 回覧板が負担なので、文書量を減らしてほしい。
- ・ 各家庭に情報端末を配布して回覧板を廃止しては。抜本的な改革が必要。
- ・ 情報発信の手段をアナログ組とネット組に分けては。

加入や活動内容等に関する意見・苦情

【自治会という組織について】

- ・ 自治会は廃止した方がいい。自治会は不要。今の自治会は時代に合わない。見直すべき。
- ・ 自治会への誘いがなかったため、どんな組織なのか、どんなことをするのかもわからない。
- ・ 高齢化が進んでいるので将来が心配。
- ・ 今後の自治会について、みんなで考える（良い知恵を出し合う）機会を設けてほしい。
- ・ もう少し小さな班割りにしてほしい（三島5丁目在住）。

【加入について】

- ・強制で加入させられたが、加入しない権利もあるべき。入りたい人だけ入れればいい。
- ・できれば抜きたい。退会を希望しても抜けさせてもらえない。年を取ったら退会したい。
- ・子どもが小さい頃は加入してもいいと思ったが、学校を卒業したら退会したい。
- ・自治会に加入していても所属感がない。
- ・住んでいる地区以外の自治会に加入する世帯が増えている。入りたい地区の自治会長が OK すれば加入できるという勝手なルールがある。
- ・市の自治会ではなく、自宅周辺の独立した自治会（自主グループ）に入っている。
- ・いつ引っ越すかわからない人は、自治会などの深い関わりはない方がいい。
- ・単身世帯のため、自治会に無理に入らなくていいとは思いますが、防災のことを考えると不安である。
- ・アパートでも自治会に入れればいいのに。
- ・退会者が増えており、嘆かわしい。
- ・別荘地に永住してきた人はほとんどが自治会に入っていないため、すれ違ってもどこの誰かもわからず会話もない。新しく引っ越してきた人に、自治会入会を誘いにくい。
- ・子どもが就学したら加入しようと考えている。
- ・自治会に加入することは、近所のお付き合いのために大変良いことと思っている。
- ・面倒と思うこともあるが、なくしてはいけない活動だと思う。
- ・市民であれば積極的に加入するべき。加入が当たり前。
- ・自治会に加入していない人はぜひ入ってほしい。地域の人たちとつながりを持ってほしい。
- ・自治会加入は安心感がある。まちを活性化させることとは別かもしれない。

【自治会活動の内容や活動への参加について】

- ・行事を減らしてほしいが、提案はしづらい。
- ・共働きで参加できないのに、参加しないと悪口を言われる。
- ・それぞれの事情があり、自治会に関われる世帯ばかりではない。なんでも「きまり」として活動することにうんざり。
- ・若い世代は、休みの日を自治会活動に当てたくない。若い人の意見も聞いてほしい。
- ・今までの活動を次世代の方が引き継ぐのは難しいと思う。
- ・共働きで子供がいる世帯には土日の集まりは負担が大きいので、集まらなくて済む工夫を。
- ・どうすれば魅力ある活動にしていけるか、工夫が必要。
- ・運動会などのイベントや研修旅行はなくていい。消防や婦人会も必要ない。地域の交流は不要。
- ・球技大会や懇親会、敬老会に必要性を感じない。
- ・運動会は高齢者には危険なため、もっと安全な催し物を開催してほしい。
- ・高齢者が昼間一人であるため、ときどき見回りをしてほしい。
- ・80 歳を超える人にも清掃活動を強要するなど、身体的や家庭の事情を無視した参加強制に反対。
- ・飲み会ばかりで、防災の話など何一つなく不安。こんな自治会なら意味がない。
- ・災害時の助け合いという割には防災用品や非常食の備蓄もなく、防災活動も聞いたことがない。
- ・一斉清掃で、誰も使っていない公園（空地）の草むしりを行うが、そもそも誰も遊んでいない。

- ・自治公民館の掃除や除草は外注に出して自治会費から支払ってほしい。
- ・自治公民館の建て替え費用を徴収されているが、このご時世に公民館を立て替えても活用されていくとは思えない。
- ・地域の方と交流できるのは良いことだと思う。交流は大切だと思って加入している。
- ・子ども向けのイベントが楽しい。
- ・行事に参加することで、たくさんの人に出会い、楽しいことがたくさん出来ている。
- ・運動会やボーリング大会は盛り上がる。景品もあり、ご近所さんと仲良くなれる大事なイベント。
- ・自治会の仕組みを知ることが出来るようなセミナーや加入の説明会があれば参加したい。
- ・自治会は続けてほしい。自治会活動は活発な方がいい。
- ・自治会長を経験した。市とのパイプ役として、地域住民の声を上げていくことは重要。
- ・日中、家には親が一人だけのため、近所の人との付き合いがあると心強い。
- ・地域の自治会はかなり積極的に活動しており、努力している。
- ・スクールガードなど、子どもの見守り活動はありがたい。
- ・現在の自治会は十分に活動している。昔からの付き合いがあり、いろいろな面で交流している。

【コロナ禍における活動について】※色分けなし

- ・コロナで活動がなくなり、集まりも減って嬉しい。住みやすくなってありがたい。
- ・コロナにより、不要な活動が浮き彫りになった。それをまた復活させるのではなく、淘汰されることが望ましい。必要な活動のみ残せれば。
- ・コロナは自治会改革の良い機会になると思う。これを機に自治会がなくなればいい。
- ・緊急事態でも自治会は何もしなかった。何のための自治会か。
- ・コロナで何もできなくなってしまった。年2回のハイキングも中止になり、魅力ある活動ができなくなってしまった。
- ・コロナ禍で顔を合わせる機会がなくなってしまった。お互いに連絡を取りやすい環境が重要であり、顔を合わせる機会があることが望ましい。
- ・高齢者の生きがいサロンなど、コロナ禍でも楽しめるようにしてほしい。
- ・コロナ禍での回覧板は不安、多くの人が手にしている回覧板を触ることに嫌悪感あり。
- ・コロナ対策を出来ている人と出来ていない人がいる。対策が出来ないなら活動を自粛してほしい。
- ・コロナが収束しても、今までのような飲み会はやめた方がいいと思う。
- ・コロナ禍でわざわざ人が集まることをしなくてもと思う。
- ・コロナ禍での行事で何かあったら、自治会は責任を取ってくれるのか。
- ・コロナで活動が制限されているが、災害が発生したらどうなるのだろうか。

【個人情報保護】

- ・自治会に加入しているが、個人情報保護の関係で加入者名簿も配布されない。納得できない。
- ・名簿がないため、誰がどこに住んでいるのかわからず、連絡も取れない。緊急時には漏れなく連絡ができる情報網の構築が必要。
- ・防災マップを作るため、家族構成を書かされ、個人情報保護も何もない。

【年長者（もともとの住民）への意見】

- ・年長者以外の意見は通らない。意見を言う人もほほいさない。住んでいても楽しくない。
- ・自治会長が一人威張っている。誰も何も言えない。任期を制限するなど、早く交代してほしい。
- ・人が少ないのに昔からの行事を止められない役員たち、若い世代と交代してほしい。
- ・年配の方が運営しているので、子育て世代とのズレが大きい。
- ・旧住民と新住宅地との間に溝がある。何かにつけて「新しい人は…」と言われる。歩み寄りが感じられない。住宅地ごとなど、小さな区域で自治会を作れるようになると変わるかもしれない。
- ・新参者に対する言葉が不愉快。古くからの住民との生活習慣の差がありすぎる。単純な地域割り
で自治会を運営するのは無理があるのでは。
- ・先住民の悪質な嫌がらせがある。古風な考えを押し付ける先住民がいると困る。
- ・移住してきて、地域貢献したいと思っていたが、よそ者扱いされた。今は、他の地域でボランティア活動をしている。
- ・上意下達（トップダウン）の形が強い。提案のしやすさが欲しい。
- ・マンション居住であるが、自治会費を負担しているのに自治会に参加させてもらえない。マンション暮らしでも参加できるようにしてほしい。
- ・アパートだと自治会長が誰なのかもわからない、自治会からの誘いもない。自治会からアパートへのアプローチが必要ではないか。家賃から自治会費は引かれているのに。
- ・自治会に加入しているが、自己所有の家と賃貸住宅の間に温度差がある（アパートは差別される）。

【女性の役割等に関する意見】

- ・会合でのセクハラ・パワハラをなくしてほしい。女性にお茶くみ係にしないでほしい。
- ・婦人部という名前は時代遅れ。
- ・自治会行事後の役員の宴会の準備を女性だけがやっている。「昭和か」と思う。

「こんな自治会ならいいな」など、自治会に望むこと（自治会活動の改善案）

【自治会活動の簡素化、働いている人等への配慮】

- ・行事の簡素化、参加行事をなくしてほしい。根拠のない伝統などを強要しないでほしい。
- ・時代に合わせて柔軟に変わっていきける自治会がいい。
- ・慶弔費や冠婚葬祭の手伝いを強制しない自治会になれば。
- ・集まりを少なくしてほしい。仕事との両立ができるような活動であってほしい。
- ・回覧板だけの自治会がいい。それなら会費もいらぬし、行事がなければ仕事にも支障がない。
- ・自治会費も役員もない自治会がいい。草取りやごみ拾いなどのボランティアは全員で行う。
- ・無駄がなく合理的な活動をする自治会に。自分が出来る範囲で協力する姿勢を基本に。
- ・活動の外部委託
- ・自治会の会則や規約は弾力性が大切（地域住民の多様性に対応する必要性）
- ・心理的負担を少なくしてほしい。必要最低限の活動だけにしてほしい。
- ・会合等の予定は早めに知らせるなど、仕事のシフト調整が出来るような配慮を。

【助け合い、見守り、防災重視】

- ・干渉しすぎずに適度な距離感、防災関連でいざというときは助け合う精神のある自治会
- ・防災への意識が高く、「お互い様」の精神に溢れている自治会
- ・活気があり、ご近所付き合いがしやすく、困ったときに助け合える自治会
- ・昭和の時代のような、市民同士が顔見知りで、安心して安全な暮らしやすいまちを作れる自治会
- ・ひとり親世帯や独居老人等、弱者に安心、安全な支援に取り組む自治会
- ・地域の絆があり、見守りや困りごとを共有し発信できるような自治会
- ・子どもの遊び場があったり、高齢者のゴミ出しを手伝ったり、子育てや福祉活動に活発な自治会
- ・子供の登下校時や高齢者の見守りなどを強化してほしい。繋がりを重視してほしい。
- ・防災に重きを置き、避難場所がよくわかるようにしてほしい。

【交流】

- ・地域通貨などを作って、お互いに助け合うイベントができると良い。
- ・高齢社会になっていくので定期的な活動をしたい。顔を合わせると元気であることを確認できる。
- ・年齢や家族構成等の家庭環境が様々でも気軽に交流できる自治会
- ・年に最低1～2回は自治会または組の交流が必要
- ・ときどき地域の情報交換などをできる場が欲しい。

【イメージアップ】

- ・役員は地元の名士で任期が長い。風通しの良い自治会を希望。新しい人も受け入れる体制を。
- ・自治会は堅苦しく、お年寄りしかいないイメージのため、執行部に若くてしっかりした人を。
- ・若い年代が多くなれば良いと思う。もっと若々しいイメージに。
- ・フレンドリーで、親切に分け隔てなく接してくれる人たちがばかりならば。
- ・ある一部の人達だけの活動が多い現状からの打破
- ・役員が規約や組織を理解した上で、住民の意見や要望を聞き入れ情報を共有し、ひたむきに行動をもって尽力し、お互いに協力できる人材（後継者）育成ができるような自治会に。
- ・自治会活動をもっと「見える化」してほしい。

【その他】

- ・地域の問題（道路族・騒音問題）を解決してくれる自治会
- ・地域全体のセキュリティに貢献する活動や各種慈善活動が明確な自治会
- ・地域の課題について、加入・未加入によらず、民主的に意見要望を聞いてくれる自治会
- ・現在の自治会規模が大きすぎるため、適正規模に。理想的な（顔が見える）規模は50世帯位。
- ・必要性や実践性、学びのある防災活動などを通して、ある程度強制力を持った活動であれば、真の親睦が得られると思う。
- ・市に対して、個人ではなく自治会として意見を挙げてくれるといい。
- ・自分が自治会に参加しているという思いが欲しいので、様々な役割を楽しく分配する自治会

【自治会そのものの見直し、在り方検討】

- ・自治会を一度廃止してみて、日常生活に不都合を感じるかどうかを問いかけるべき時期では。
- ・加入者を増やすための策を検討する前に、そもそも自治会が必要なのかという議論をするべき。
- ・少子高齢化時代における自治会機能の将来像を検討すべき。
- ・自治会の役割と在り方を根本的に見直す必要があるのでは。「自治」の問いかけ直し。
- ・一律横並びの活動はすでに限界。従来の枠にとらわれず、区割りも含め作り直したほうがいい。
- ・自治会に限らず、市全体の情報を共有できる組織があればいい。
- ・ご近所づきあいは自治会への加入とは関係ない。電子行政が進めば自治会は不要となるかも。

【自治会に対する市からの助言やルール作りに関する要望】

- ・皆が自治会に加入したくなるような自治会の体制について、市から自治会に周知してほしい。
- ・自治会任せのルールではなく、市が基本のルールを作成してほしい（会長のワンマン防止）。
- ・地区によって活動のばらつきがあるので、統一した方がいい。
- ・自治会への加入、退会は自由だということを市から強く言ってほしい。
- ・お葬式の手伝いをなくすよう、市から言ってほしい。仕事を休んでまで手伝いに行けない。
- ・コロナ禍の活動に抵抗があるが、仕方なく参加している人がいることを、市から言ってほしい。
- ・災害用備蓄物置は全自治会設置が望ましいが、市から働きかけはしているのか。

【自治会への依頼業務、市のサポートについて】

- ・市民全員が回覧板や防犯灯、ごみ捨て、見守り活動などの利益を享受できるようにすべき。
- ・自治会の役割を外部委託にして、自治会に加入しなくても不利益を被らないようなシステムに。
- ・県外から移住してきたが、こんなに自治会に頼り切った市町村は他にないので驚いた。市が他県のシステムを学ぶべき。
- ・市職員が業務として広報活動やごみの管理、街灯の管理、高齢者の見回りなどをしてほしい。
- ・自治会に丸投げするのではなく、行政の支援が必要。
- ・行政がやるべき仕事である。自治会は市役所の下請けであり、必要ない。
- ・街灯整備、消防、ごみ等、生活に欠かせない行政サービスと自治会活動との関係がわからない。
- ・市からの協力依頼が多すぎる。自治会は、役所の連絡係が行政の雑務を請け負う集団
- ・他団体からの依頼（特に寄付）も多い。直接行政に関わらないものは市から断ってほしい。
- ・書類の提出を極力最小限にしてほしい。
- ・配布文書が多すぎる。〇〇だより等は他の方法で配布してほしい。
- ・今後、行政としても、自治会に対する行事協力の要請は難しくなっていくのではないか。
- ・一生懸命やっている人だけに負担が多いため、市のサポート体制を充実させてほしい。
- ・公設公民館に、生涯学習課だけでなく市民協働推進課や地域共生係等の職員を配置し、自治会活動を支援するような体制が必要かと思う。

【加入促進のPR】

- ・自治会にPRを頼るのではなく、市役所自体がPRし、メリット策を実施してほしい。
- ・自治会がなぜ必要なのかを丁寧に説明する必要がある。わかりやすく説明した資料があるといい。
- ・自治会に加入しないことのデメリットをまとめて加入促進PRに活用する必要があると思う。
- ・宅地造成業者への開発許可の際に、自治会説明を必須条件とする。
- ・アパート住民の協力が得られないことが多いので、何か対策をお願いしたい。
- ・役所の窓口でのPR強化（転入、転居時）、自治会活動が必須であることをきちんと周知すべき。
- ・地域と親しくする価値を見出していない世帯に、地域交流の必要性を教育する必要がある。
- ・共助は自治会のみが果たせる役割。「災害に備える」政策の一環として、自治会の重要性を様々な手段で周知してほしい。
- ・地域を維持することにはお金がかかること、市からの補助金のみでは賄えないこと、自治会に加入することで最低限の費用（自治会費）を負担していることを市民に説明すべき。
- ・自治会が行政の補助的な役割をしていることを広く知らせるべき。
- ・未加入者の意見を聞いてみては。

【アンケートや条例に対する意見】

- ・自治会加入促進条例は反対である。
- ・このアンケートは無意味。宇都宮市を見習ったのかと思ったら残念。進歩なく馬鹿にしているのか。くだらない。
- ・このアンケートは偏っている。加入したくない理由も聞くべき。
- ・このアンケートは、加入ありき、加入のメリットありきの内容なのでアンケート自体が適さない。
- ・誰が何の目的で、どのように利用するアンケートなのか。

【その他】

- ・市職員なのに加入していない人がいる。市職員にも加入を勧めたらいいのではないか。
- ・市職員は加入すべき。
- ・市議会議員は、自治会活動に積極的に参加して協力すべきと考える。
- ・自治会がしっかりしていれば、市議会議員を廃止できるのでは。
- ・各自治会の自治会費を公開してほしい。
- ・旧黒磯市は自治会の数が多く、西那須野の地区長と同様の働きと思われ、格差がありすぎる。経費削減のためにも、黒磯地区の自治会長の人員を即削減（自治会を統合）すべきである。
- ・自治会の加入を義務化すべきである。全世帯加入にすべき。不公平が生じる。入っていない人は、何かあると行政を頼りすぎる。
- ・自治会加入者の税金を減税する。住民税の緩和措置。
- ・自治会にも一斉メールを導入してほしい。デジタル化は、災害時の備えだけでなく、自治会運営にも大きな効果があると思う。
- ・自治会加入者と未加入者を地域内で完全に分断し、未加入者は未加入者同士で一斉清掃等を行うようにしては（東京都武蔵野市の例にならう）。行政は両者への対応が必要となる。

自治会に関する市民アンケート

該当するものに○を付けてください。

1 居住地域 黒磯地区 東那須野地区 高林地区 鍋掛地区 西那須野地区 箒根地区 塩原地区 わからない（町名記入 ）	
2 年齢 20歳代以下 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代 80歳代以上	
3 居住形態 戸建住宅（自己所有） 戸建住宅（賃貸） 集合住宅（分譲） 集合住宅（賃貸） 寮・社宅 その他（ ）	
4 自分の地域の自治会（活動）を知っているか 知っている なんとなく知っている 知らない	
5 自治会に加入しているか 加入している(6へ) 加入していない(7へ) 加入していたが退会した(7へ) わからない(8へ)	
6 自治会に加入して良かったこと （いくつでも） <ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民と交流できる、仲良くなれる ・地域のまつりや行事に参加できる ・地域の住民として、まちづくりに貢献できる ・学校や行政とのつながりができる ・回覧板等により様々な情報が得られる ・子ども同士や親同士のつながりが増える ・子どもの見守り活動による安心感が得られる ・高齢者の見守り活動による安心感が得られる ・防犯灯やパトロールなどによる安心感が得られる ・災害のとき（避難時を含む）に心強い ・その他（自由記載） []	7 自治会に加入していない（退会した）理由 （いくつでも） <ul style="list-style-type: none"> ・自治会が何を行っている組織かわからない ・加入の仕方がわからない ・加入しなくても困らない（加入のメリットがない） ・近所付き合いがわずらわしい ・仕事が忙しくて活動に参加できない ・身体的な理由により活動に参加できない ・役員（班長等）になりたくない ・会費を払いたくない ・転勤や通学により短期の居住である ・その他（自由記載） []
8 自治会について、「このような自治会なら加入したい」など、意見や要望（自由記載） 	

ご協力ありがとうございました。